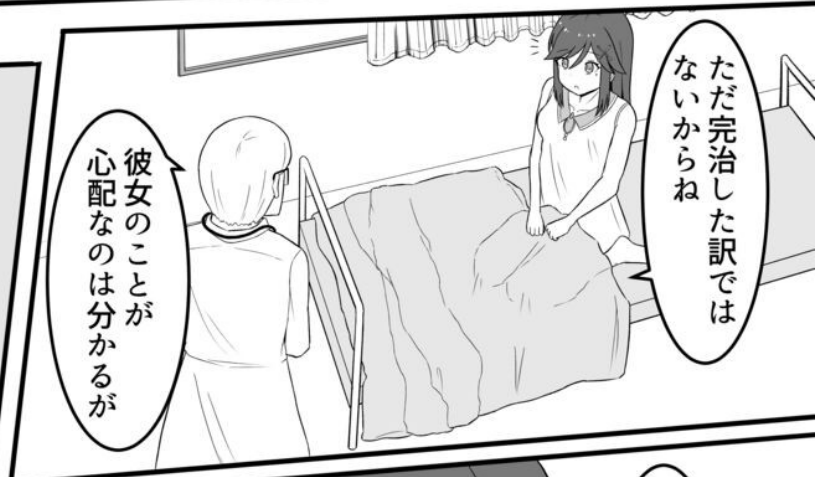


黒に染まる百合2

アルラウネ堕ちした幼馴染に
身体を蝕まれていく話







先生の話では、突然の高熱で倒れた私を治すため、

ユリが危険な洞窟から薬草を採取してきてくれたとのことだった。

しかし薬草を預けた後、

「私の事は探さないで欲しい」という言葉を残して、

彼女はそのまま姿を見せなくなってしまったのだという。

そうしてユリが消息を絶ってから

十日が経過した。

ここが先生の言っていた場所…

きっと何か手がかりがあるはず



漂ってる香りのせいで
頭が回らなくなる

なんなの
この洞窟…

はぁ

はぁ

身体もおかしく
なってきたるし、





ユリちゃんの
想い人ちゃんじゃない



プロテクト!

あら、あなた

うね

うね



しまった!
後ろにも敵が



こんなところにまで
来てくれるなんて



ヒト型の
アルラウネ!?

なんで
ユリのことを



ミーナ



ミッ
ルッ



良かったわね

ゾッ
ゾッ



どうして
来ちゃったの？

探しちゃダメって
言ったのに

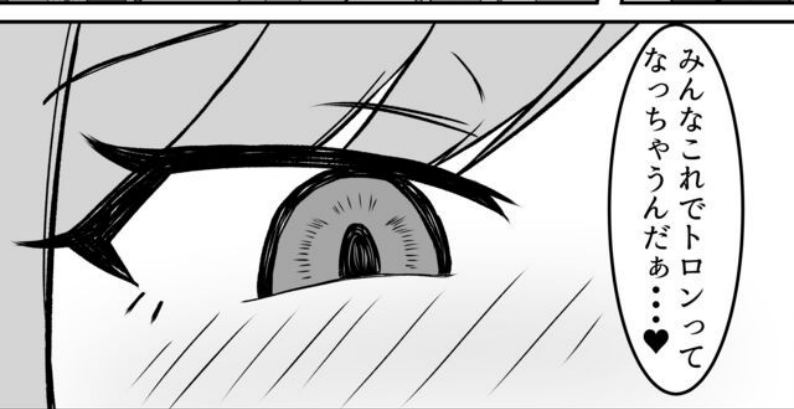
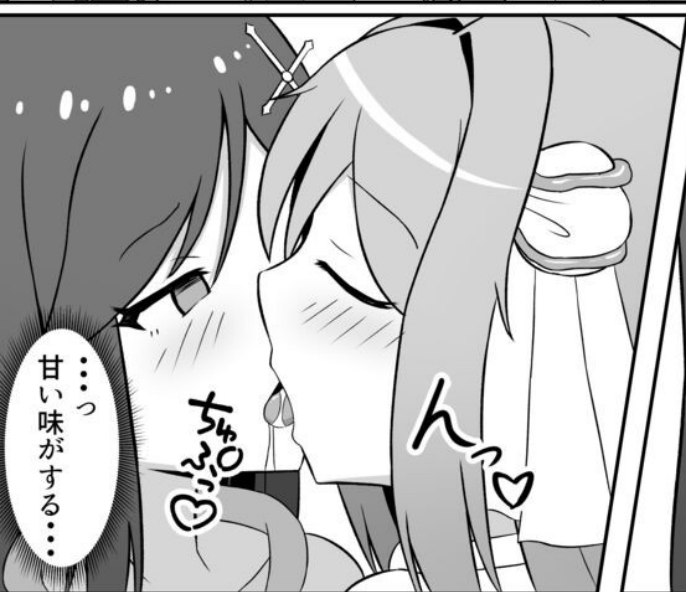


元気になったんだね

良かった...

どうしたの
その恰好っ

一体何がっ



私の知ってるユリは
こんなことしないわ!

どうしちゃったの?

この子の
気持ちも知らずに...

ずっと貴女のことを
想っていたのよ?

仕方ないわね
ユリちゃんのために

ひと肌
脱いじゃおうかしら♪

はあ

もしかして
あんたが...

一体何をしたの!?

あらあら

パクンッ

なにこれっ

!!?

真っ暗で何も
見えないっ

それに
この匂い...

はあ

ゾク...♡

ここにくるまでに
漂ってたのと同じ...!

お腹の下が
どんどん熱くっ

きんきん

サバ



どう？私の芳香を
直に吸った感想は

はっ♡

はっ♡

シアワセな
気分でしょう♡

スル...

しゃるっ

ぶっくりしてて
かわいい乳首...♡

めい♡

きゅ♡

はっ♡

やっ♡
ん♡
に♡
あ♡



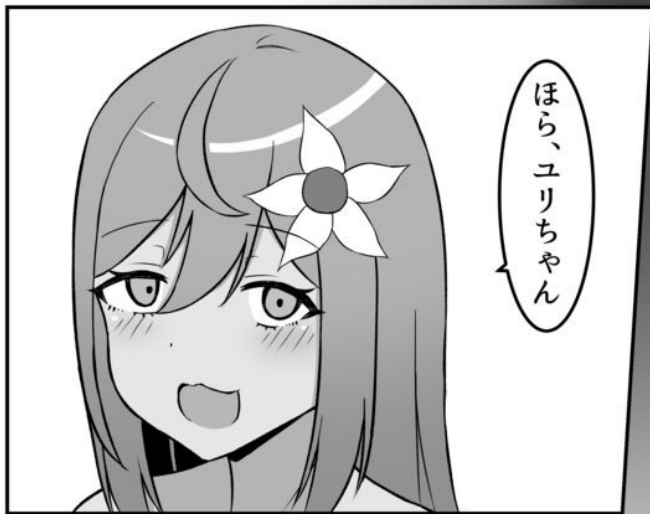
あら、体はもうすつかり
できあがっちゃってるわね♡

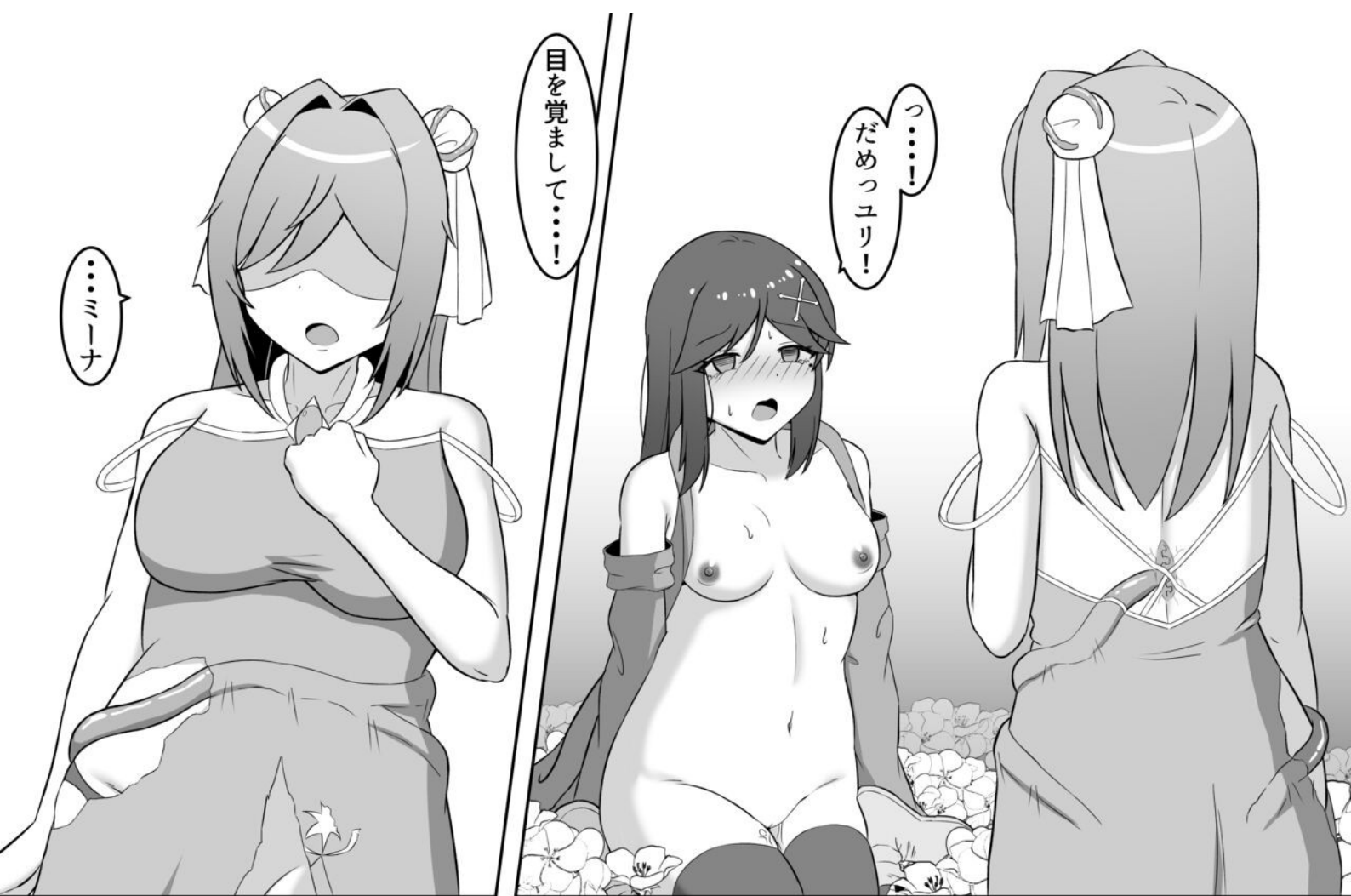
たくさん嗅いでもっと
キモチよくなりましょうね♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡







この体には人間の精力が必要だって知って



最初はすごく
シヨックだった

他のヒトの命を糧にして
生きないといけないなんて…



でもね



初めてソレを食べたとき、
全身に幸福感が駆け巡って



そんな葛藤なんて
消し飛んじゃったんだ…



その時身体に刻まれた灼けるような
快楽が忘れられなくて



仕方がないことなんだって
言い訳しながらも

私は進んで行為を繰り返す
ようになっていったの

気づけば食事をするかのように
それが当たり前になっていて



その時
分かったんだ

私はもうヒトじゃ
ないんだってことと



これが今の私のシアワセ
なんだってことが…



後悔はしてないよ

それに何よりも

ミーナを助ける
ことができたんだもの

自分の気持ちに
気づくこともできたから

わたしね、
ミーナのことが好きなの

ずっと
好きだったんだ

こんな身体に
なってから

いつもミーナのことを
考えてたんだよ

ユリ…?

だから会いたくなかった

次会ったら自分が
抑えられないって分かってたから

シュル…

でもね

サッ…

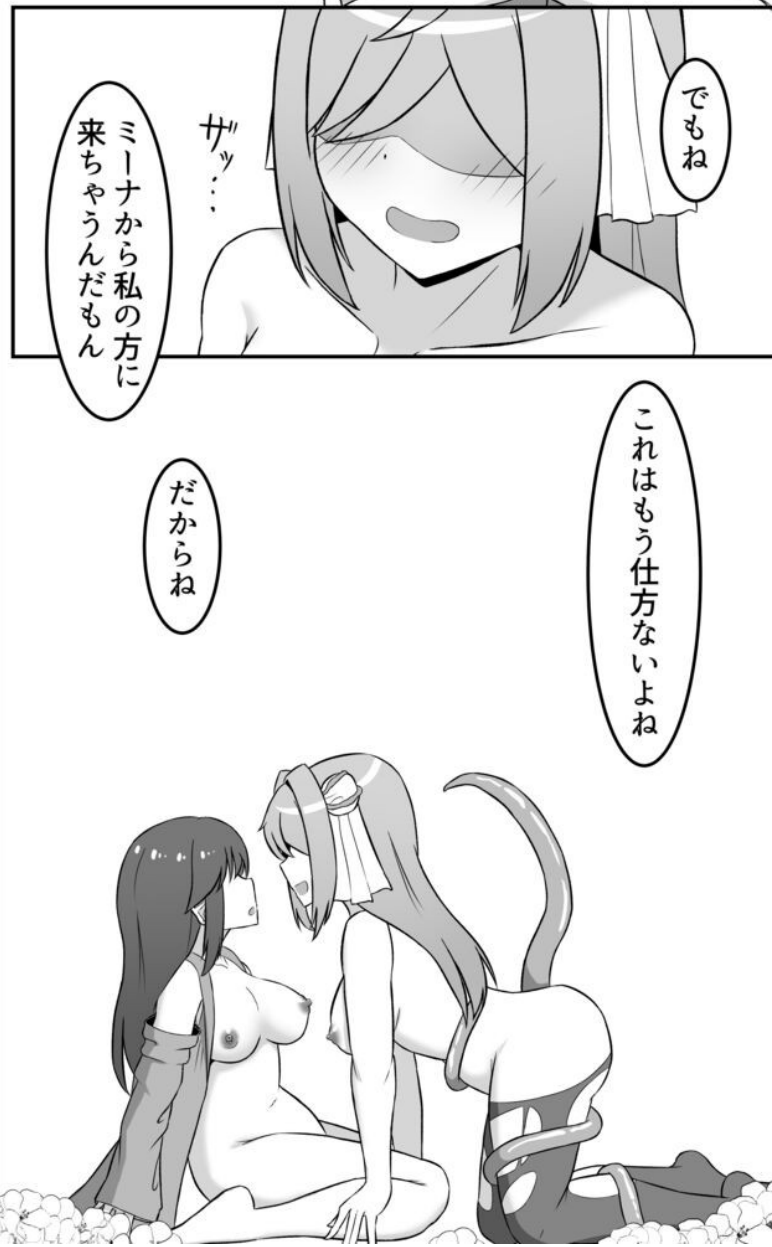
ミーナから私の方に
来ちゃうんだもん

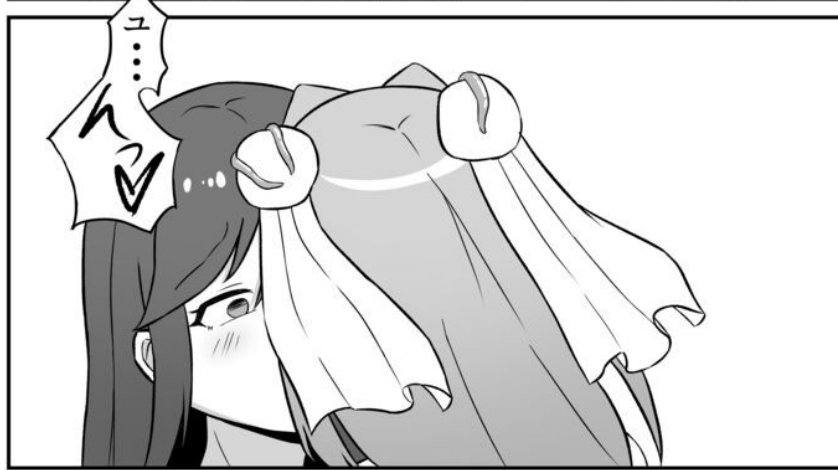
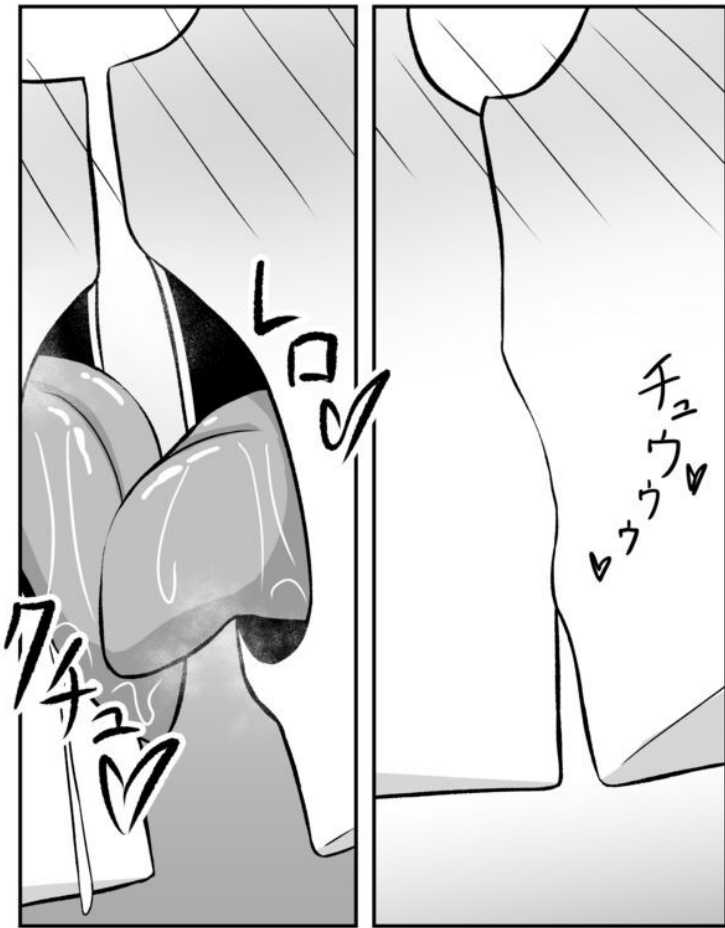
これはもう仕方ないよね

だからね

これから

ずっと一緒にいようね







ミーナがキモチよさそうで
嬉しいっ♡



ユリっ

それ
おかしくなっちゃうつ

おかしくなっちゃうから
やめてっ♡



ここ
勃ってるよ...♡

中からも
いじってあげる



ニユププ...♡

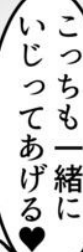
あッ!?



わたしねっ



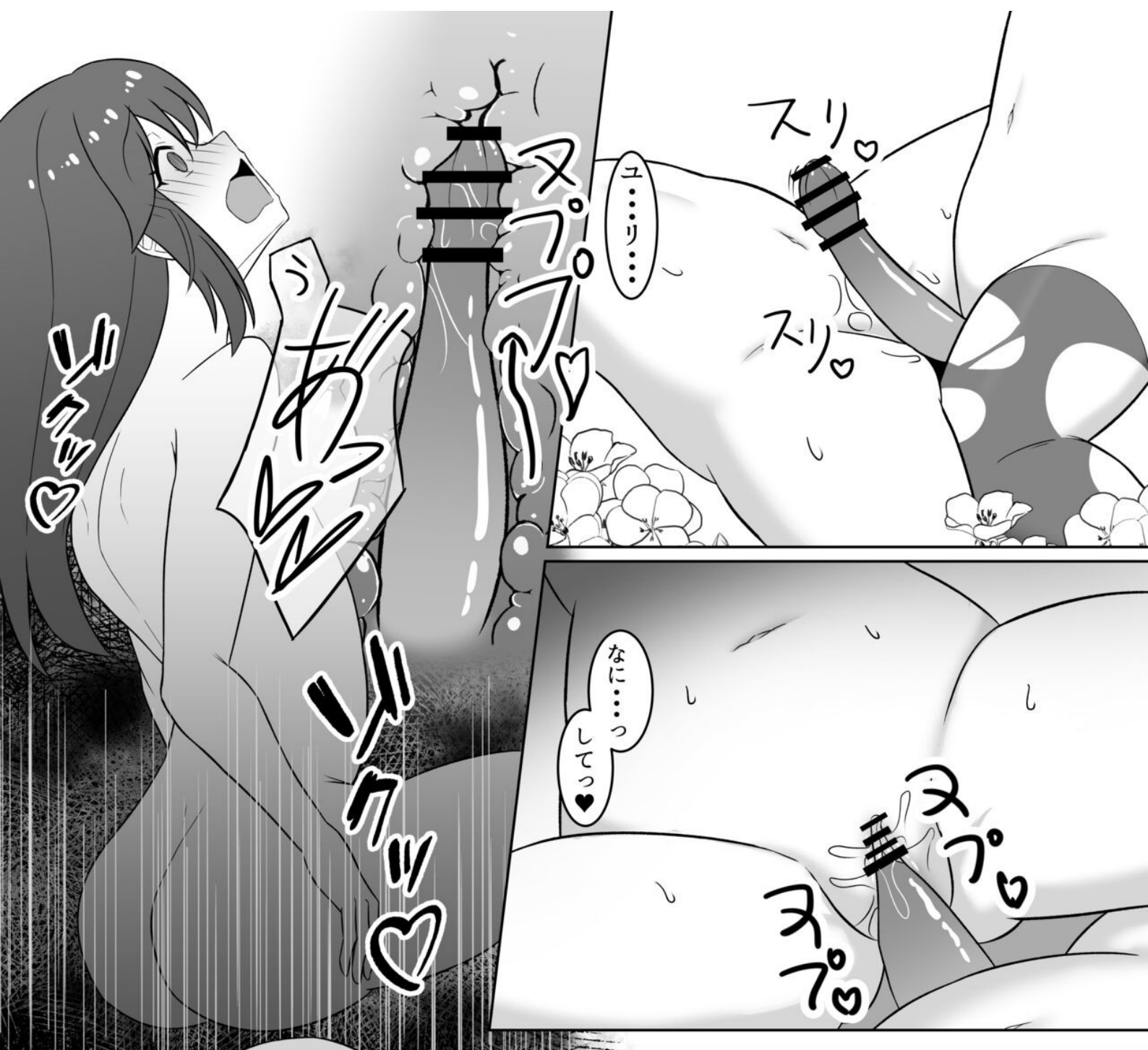






うそ...







あ...

これだめ...♡



もっともっと
たくさん嗅いで...♡

わたしのことだけ
考えて...♡

ドクン...♡ ドクン...♡

あまい...

においがする...



ぜんぶとけていく...♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡



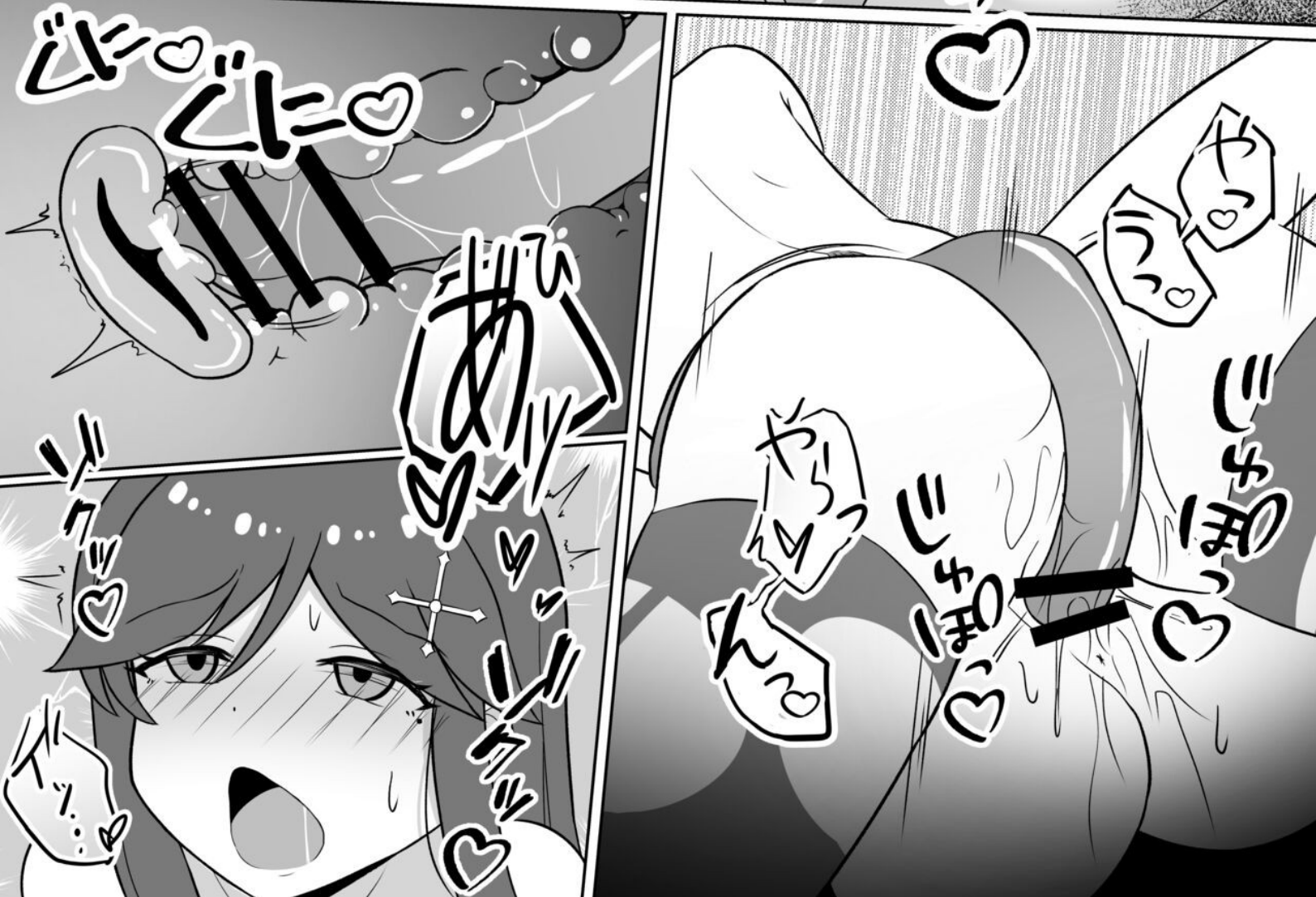
ユリのからだ

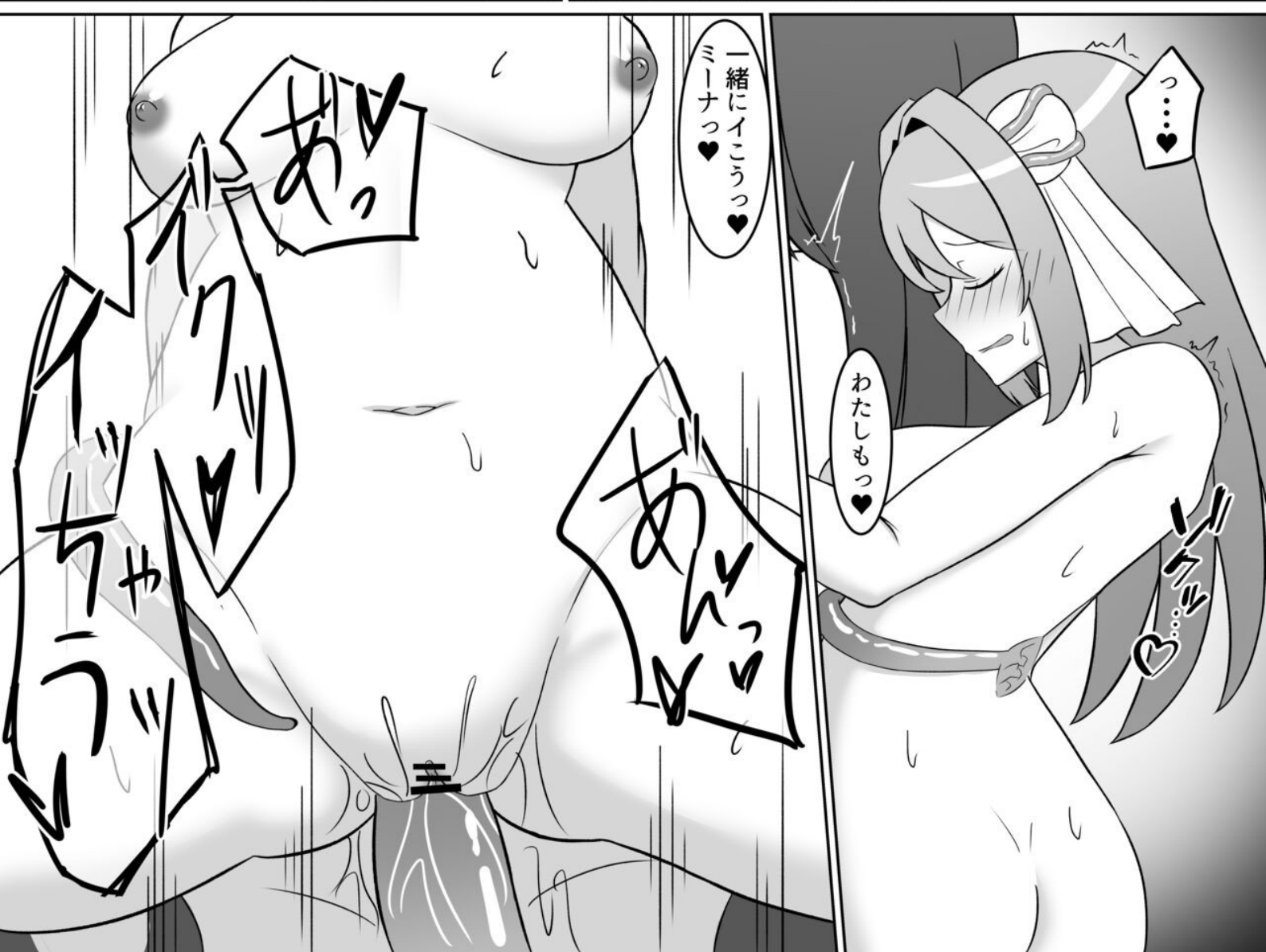
むにゅ...♡

すごくきもちいい...♡

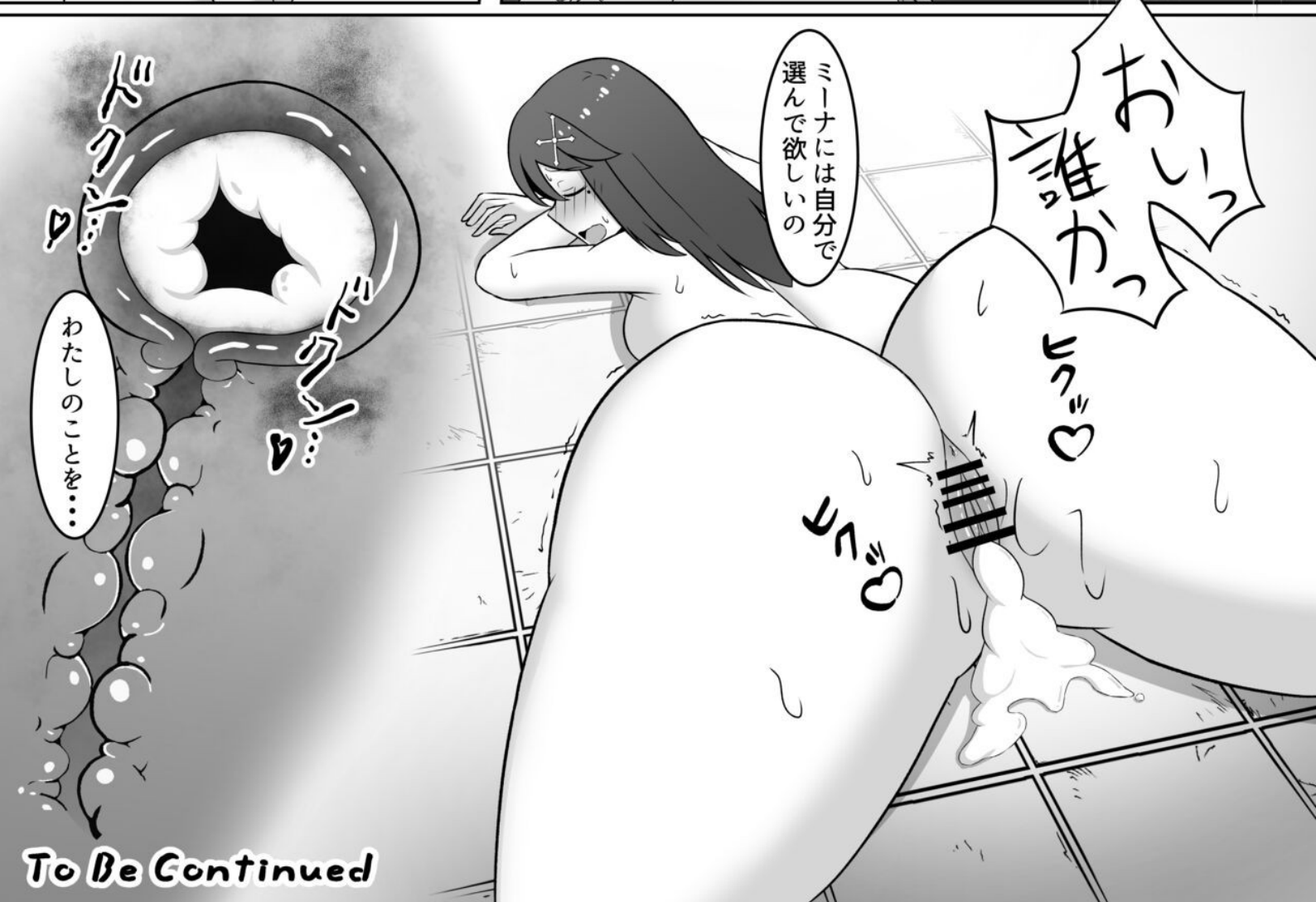
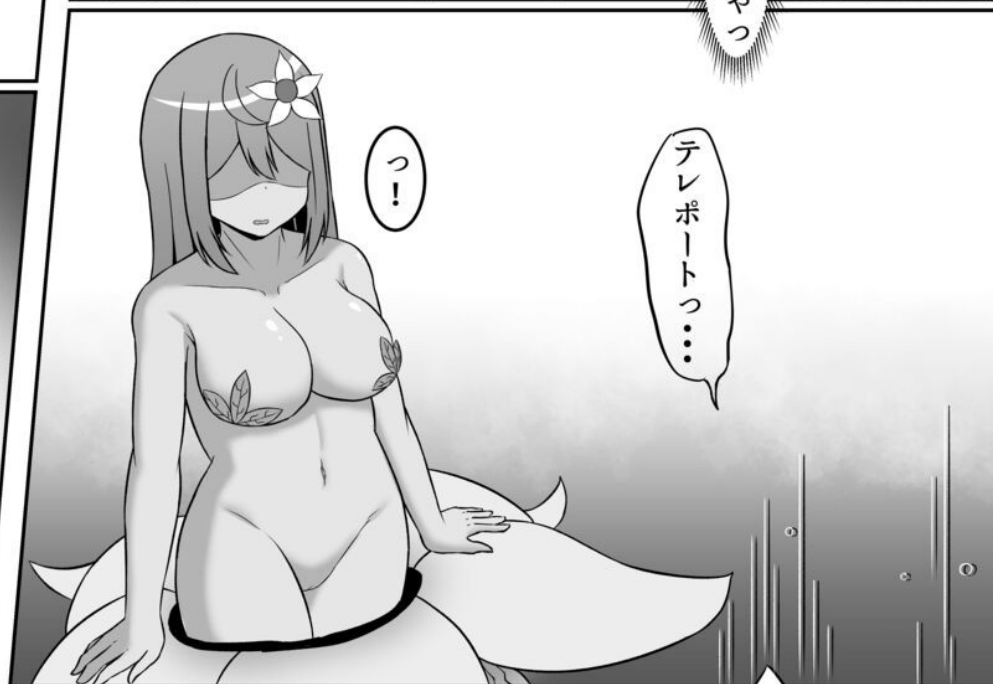


あたまが
ぽーつとして









■あとかき・おくづけ■

こんにちは、EPLOOV(えるふ)です。

本作をお手に取っていただき、誠にありがとうございます！

重い愛情でずぶずぶと沈められていくようなお話が書きたいなあ、と思っていたらこのような内容になりました。ユリの感情が暴走していく過程をどう描くかで結構悩んだのですが、最終的には作りたかったものにたどり着けたかなと思います。

次回でメインのお話は完結する予定です。前作に引き続き本作も想像以上に時間がかかってしまったので、次はもっと早く出したいと思っています。

・・・出せるかな。少なくとも1年後とかにはならないように進めたいです。

それでは、またどこかで！

黒に染まる百合2

～アルラウネ堕ちした幼馴染に身体を蝕まれていく話～

サークル名：Corruprotocol

作者：EPLOOV

◆Twitter◆



◇Pixiv◇



※本作品の無断転載、複製、改変、翻訳等はいかなる場合も禁止します。
Unauthorized reproduction, duplication, modification, translation, etc.,
of this work is strictly prohibited.
